

## 河川における有機フッ素化合物の検出について

有機フッ素化合物（PFOS<sup>ビーフォス</sup>・PFOA<sup>ビーフォア</sup>）につきましては、国からの通知に基づき、令和3年度から、府内の河川48地点において、年1回、水質測定を実施しているところです。

この度、本年8月23日に採水を実施した綾部市内の犀川での水質測定の結果、9月14日、国の定める暫定指針値（50 ng/L）を超過する値であることが判明しましたのでお知らせします。

### 1 水質調査結果（PFOS・PFOAの合算値）

（単位：ng/L）

採水地点	R5.8.23 採水結果
犀川 天野川合流前	24
支川 天野川（合流前）	2,800
犀川 小田橋	150
犀川 三宅橋	240
犀川 小貝橋（環境基準点）	220

上流  
↑  
↓  
下流

### 2 府の対応状況

- ・ 上流に位置する事業者の放流水（天野川へ放流）が原因と推察されることから、事業者に水処理の改善（活性炭交換）を指導し、9月20日に改善が完了予定。
- ・ 改善完了後の9月21日、放流水の再検査を実施予定。
- ・ 犀川において水質モニタリングを継続実施。
- ・ 犀川周辺の地下水の調査を実施予定。国の「PFOS及びPFOAに関する対応の手引き」では、暫定指針値を超過した場合には、飲用を控えることを井戸所有者に助言等することとされていることから、9月15日に綾部市に対し、念のため結果が判明するまでの間は井戸所有者に飲用を控える旨の注意喚起を行うよう連絡済み。

#### （参考）

○PFOS<sup>ビーフォス</sup>、PFOA<sup>ビーフォア</sup>とは

PFOS及びPFOAは、ともに有機フッ素化合物の一種。PFOSは主に泡消火剤、半導体など、PFOAは主に泡消火剤、繊維などに使われている。

○暫定指針値とは

2020年当時の科学的知見に基づき、体重50kgの人が水を一生涯にわたって毎日2リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと考えられる水準を基に国が設定。なお、どの程度の量が身体に入ると影響が出るのかについては確定的な知見はなく、現在も国際的な様々な知見に基づく検討が進められている。

○ng/L（ナノグラム・パー・リットル）とは

水1リットル中、10億分の1グラム

#### 【本報道発表に関するお問合せ】

総合政策環境部環境管理課 課長 笠原 電話 075-414-4698  
課長補佐兼係長 片山 電話 075-414-4709



令和5年9月17日

河川における有機フッ素化合物の検出について

京都府から9月15日、府が8月に実施した本市の犀川での水質測定の結果、有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）が国の定める暫定指針値（50 ng/L）を超過する値であることが判明した、との報告を受けました。

府は今後、犀川周辺の地下水（井戸水）調査を実施される予定であり、また国の「PFOS及びPFOAに関する対応の手引き」によると、暫定指針値を超過した場合は飲用を控えることを井戸所有者に助言等することとされており、本市に対し、念のため結果が判明するまでの間は井戸所有者に飲用を控える旨の注意喚起を行うよう協力要請があったところです。

つきましては、地域住民の皆さんにおかれては、地下水調査の結果が判明するまでの間は、水道水を飲用いただくなど井戸水の飲用を控えてくださいますようお願いいたします。なお、地下水調査の結果は採水から一週間程度で判明します。

なお、市の水道水は水質検査を行って供給していますので、安心してお飲みいただけます。

<問い合わせ> 電話0773（42）3280（内線389）  
環境保全課長 白波瀬巧 / 上水道課長 十倉和寿

